

温泉に関する可燃性天然ガス等安全対策検討会



環境省は、2007年6月に東京都渋谷区の温泉採取施設において爆発事故が発生したことを受け、今後同様の事故が生じることをないよう、同6月より「温泉に関する可燃性天然ガス等安全対策検討会」を設置し、5回にわたる議論を経て、中間報告を取りまとめました。

この中間報告では、掘削時及び廃止時も含めた安全対策の在り方について示すとともに、政府に対し、安全対策の基準を事業者が遵守することを法的に担保する制度を早期に整えるよう求めています。

環境省では、9月下旬に中央環境審議会自然環境部会温泉小委員会を開催し、今回取りまとめられた中間報告に対する意見を収集した上で、今後温泉に付随する可燃性天然ガスによる災害を防止するための温泉法の一部を改正する法律案を開会中の臨時国会に提出することを予定しています。

当社では、気体の分析をはじめ、悪臭防止法や作業環境測定に基づく分析も行っておりますので、ご相談下さい。

資料 2007年9月13日付 厚生労働省ホームページ
2007年9月18日付 EIC ネット

クロマト分析箇所 山田悠貴